

その他資料

## 第1回米沢市雪対策総合計画検討委員会

## 米沢商工会議所建設部会

## 【取り組みや課題について】

少子高齢化や人口減少、あるいは過去の建設業のイメージ(きつい、汚い等の3K)等があり、建設業界も、他産業同様、人材確保に苦労している業界となっています。そういった環境を背景に、米沢市内多くの会社で除雪オペレーターの確保に苦労している話を聞きます。そのために、オペレーターの高齢化が問題となっています。市道を除雪する場合、オペレーターや除雪担当者は、夜中の1～2時には起床し、出勤の判断をしたうえで、3時には出勤しなければなりません。それが、連続する場合もありますし、夜間排雪業務があった場合は、仮眠程度で市道除雪に出勤する場合もあります。非常に体力を必要とする業務であることから、高齢者にとっては、体力的に厳しいことが容易に推測できます。

そういった中で、除雪オペレーターを確保し続けるためには、2つの改善事項・課題があると考えます。それは、①オペレーターの労働単価の向上と、②オペレーターのやりがい向上、です。

① について、建設業の労務単価が、東日本大震災以降向上していることから、依然と比較し、だいぶ改善されてはいますが、まだ十分ではないところがあります。

② について、除雪に対するクレームが多く、オペレーターや除雪担当者がやりが

いを失っている、あるいは、地域で役に立っているという意識を低下している原因になっている感も否めません。

若手で、経験が浅いオペレーターに対し、異常なクレームを浴びせた場合、本人のやる気や、地域に貢献しているという気持ちを阻害することになり、若手をつぶすことにもつながる可能性があります。米沢市でも、市民に対し、直接にクレームを言わない、あるいは、除排雪作業は、市民の皆様の理解・協力が必要であることをチラシで周知していただいておりますが、いまだに、異常なまでのクレームや注文を直接言ってくる市民がおります。若いオペレーターを採用・育てることが難しいなか、そういったクレームで、若い人をつぶしてしまふことは、最終的には、市民にとってもマイナスとなります。

以上について、解決することが重要と考えます。なお、それ以外にも、様々ありますが、それらについては、検討委員会に参加したときに述べたいと思います。